

令和 6 年 2 月臨時会 町長所信表明

令和 6 年第 1 回出雲崎町議会臨時会にあたり、一言ご挨拶と所信の一端を申し述べ、町議会議員各位、並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げたいと存じます。

今後は、町長として、出雲崎町の更なる発展のために全力を傾注してまいり所存でございます。

新型コロナウイルス感染症が感染法上の 5 類に移行後、社会情勢が好転するかに思いましたが、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した、物価高騰などの閉塞感が未だ大きな影響を経済活動に与えております。

しかしながら、これまで出雲崎町が進めて参りました、子育て世帯や、高齢者が住みやすいまちづくりを後退させることなく、まちづくりの基本理念であります「住み続けたい、関わりたい、帰ってきたい 出雲崎」の実現に向けて各種施策に取り組んでまいります。

それでは、これからの 4 年間の町政運営に向けて所信の一端を述べさせていただきます。

先ず初めに、「自主財源の確保について」です。財源無くして施策は進めることができません。ご案内のとおり当町は約 8 割を依存財源に頼っており、今後は更に厳しさを増すことが予想されます。

自主財源の確保には、企業誘致や若者世代の定住などの施策もありますが、一つの方法として、他の自治体に例を見るように、「ふるさと納税の返礼品」をもって、自主財源の確保を行っている自治体がございます。

新たな返礼品の開発や PR 方法を工夫する等、「ふるさと納税

の返礼品と地域経済の活性化」を一体として自主財源の確保に努めたいと考えます。また、それに伴い庁舎内の組織体制の見直しも進めてまいります。

次に、「未来を担う人材育成について」です。

子育て支援は未来への投資と言われるように、これまで、町が行ってきた子育て支援策を継続します。

また、さらなる拡充で、学生や保護者をサポートしていきたいと考えており、町の「奨学金制度の拡充」や「通学費・医療費の助成」などのほか、スポーツや芸術などの分野で活躍する子どもたちへの支援体制も整えます。

次に、「高齢者支援について」です。

高齢化率の高い出雲崎町にとって、高齢者の皆様が、いつまでもお元気で住み慣れた町で生き生きと暮らせるための施策が重要となります。外出支援や買い物支援などの生活支援サービスの充実に加えて、健康づくりと医療体制の整備や、疾病予防の強化に取り組むとともに、介護職員の処遇改善も必要と考えます。

また、運転免許を持たない方への支援も強化し、医療難民や買い物弱者対策にも力を入れてまいります。

次に、「農林水産業の推進について」です。

出雲崎町の基幹産業である、農業・漁業を存続していくための施策として、農業者や漁業者に対する経営支援や所得向上のための支援を進めます。また、デジタル化が進むなかで、AIやIoTを活用したスマート化への支援や、令和7年度に向けた農業法人設立も着実に丁寧に取り組んでまいります。

次に、「伝統文化の継承と観光振興について」です。

地域の伝統文化や伝統芸能は一度、絶えると復活することが極めて困難でその継承が危惧されています。

生活様式の変化に加えて、高齢化や後継者不足が原因とされていますが、今後も、後継者育成の場と発表の機会を作り、伝統文化が絶えることのないように取り組んでまいります。

また、町並みや史跡などを活かして、交流人口や関係人口の拡大に努めるなど、観光振興にも力を入れてまいります。

最後に、「町民の皆様の暮らしを守る取り組み」です。

町民の生命、財産、安全、安心を守ることは行政の最大の責務です。地震を始めとした災害時の避難態勢の見直しや、津波避難路の整備を進めます。また、町道の改良に加えて、国県道の整備を関係機関に働きかけるとともに、水道管の更新等の施設整備を進め、安全安心の町づくりを進めてまいります。

以上、述べさせていただいた施策の他にも、「空き家を活用した賑わいの創出」、「JR 越後線や路線バスなどの地域公共交通の維持」、「起業支援」、「子どもたちの学習や部活動への支援」、「結婚につながる出会いの機会の創出」、「脱炭素社会の実現」など、様々な施策に取り組む所存であります。

現在の出雲崎町を取り巻く課題は山積しております。

しかしながら、課題が山積するということは、その分、可能性もたくさんあるということに繋がると思っております。

国や新潟県、近隣市町村等の諸機関や各種団体など、多くの皆様にご支援をお願いすると共に、議員の皆様からのご提案とお力添えを頂きながら、町民の皆さまの声に耳を傾け、出来る事から着実に一つずつ取り組んでまいります。

「共に進もうより良い未来へ」を合い言葉に、皆様とともに
「出雲崎の未来に向かって邁進していくこと」をお約束して、所
信表明といたします。